

# 農耕車に係る大型特殊自動車免許等の取得機会拡大に係る取組事例集

- ◆ 作業機を装着した農耕トラクタの公道走行について、直装式については2019年4月、けん引式については2020年2月から道路運送車両法における保安基準の緩和措置が可能となり、作業機を装着したトラクタであっても、**大型特殊自動車免許又はけん引免許があり、必要な灯火器等を備えれば公道走行ができるようになりました。**
- ◆ トラクタをはじめとした農業機械においては、公道を走行中に「追突」を受けるといった事故が数多く発生しており、**交通関係法令の遵守は、事故への備えとしても農業経営の基本となるものです。**
- ◆ 都道府県や農業関係団体の皆様におかれましては、**下記の事例も参考に、農業者の大型特殊免許等の取得機会の拡大に向け、引き続き取組を進めていただくようお願いいたします。**

## 関係団体における取組事例

### 事例① 三重県農業機械化協会 一年間を通じた研修の実施

令和3年度：560名（予定）【大型特殊：56回（各回10名）】

#### ◆ 地域の特徴

- ◇ 法改正前まで三重県農業機械化協会、三重県農業大学校が個々で実施していた研修を、双方が連携し、それぞれの持つリソースを**一体的に活用することで、急激に高まった大型特殊免許の取得ニーズに対応。**
- ◇ **年間を通じて研修日程を分散化し、受講者の様々な要望に応じた機会を創出するため、三重県運転免許センターへ試験実施日程を調整。**
- ◇ 三重県農業機械化協会の構成員である**各農機販売店やJA農機センターに申込窓口を設置し、農業者の目に留まりやすくすることで、限りある研修会を最大限活用。**
- ◇ 研修の講師は、三重県農業機械化協会のネットワークを駆使し、**各農機販売店やJA全農みえの職員などを中心に幅広く確保（15名）。**
- ◇ 講師間で研修内容に差異が出ないように、**研修内容のマニュアル化**を実施。

（問合せ先） 三重県農業機械化協会事務局（三重県農林水産部担い手支援課）  
TEL：059-224-2354 FAX:059-223-1120  
（協会HP） <http://www2.mint.or.jp/~m-nohki/>



試験ポイントの説明



実技練習の様子

### 事例② 島根県農業協同組合 —JAグループが主体となった例—

令和3年度：1,290名（予定）  
【大型特殊：131回（各回10名）、けん引：5回（各回5名）】

#### ◆ 地域の特徴

- ◇ 県内の**地区本部単位で研修を実施（計10地区）**。これにより、広域のカバーと研修回数の確保の両方を実現。
- ◇ 研修の講師は各地区のJA職員が担当。**全農県本部の農機担当職員がこれら講師の指導・育成を実施。**（講師は県内に約20名）
- ◇ 免許センターと協議を重ねて**多くの試験日を確保（年間130回）**。離島にも試験官が出向いて対応。



（問合せ先） 島根県農畜産課 0852-22-5649

# 都道府県における取組事例

## 事例① 鹿児島県 ー農業機械士の育成を通じた免許取得機会の拡大ー

令和3年度：500名（予定）【令和元年度比+165名】

【大型特殊：10回（各回35名） けん引：5回（各回30名）】

### ◆ 地域の特徴

- ◇トラクタの公道走行基準緩和に伴い、大型特殊免許取得の需要が増加
- ◇鹿児島県では、農業大学校が大型特殊免許の取得が可能な農業機械士養成研修を実施し、需要に応じて令和2年度から受講枠を拡大
- ◇育成した農業機械士は各地域の農作業安全の啓発等に活躍



（問合せ先）鹿児島県経営技術課 099-286-3155

## 事例② 富山県 ー取得機会の拡大と取得のフォローー

令和3年度：225名（予定）【前年度比+54名】

【大型特殊13回（各回最大14名）けん引8回（各回最大6名）】

### ◆ 地域の特徴

- ◇制度の変更を周知するとともに、**各市町村を通じて取得希望者数を把握した**。それを踏まえて、免許の出張試験回数の増加を公安委員会に要請し、県農業機械研修センターの研修計画を見直した。
- ◇研修希望者が定員より多く、研修者を絞り込む際には、組織経営体と個人経営体をバランスよく振り分けし、**より多くの農業経営体が研修できるように調整している**。
- ◇研修施設場内に融雪装置を装備し冬季の研修も可能とするなど研修回数の増加に向け、**研修環境を整備し**、また、研修時にはトラクターをフル稼働するなど実技練習を充実し**取得をフォロー**している。



マンツーマンで操作指導



研修用トラクターをフル稼働し、多くの研修生が実技練習

（問合せ先）富山県農業技術課 076-444-3278

## 事例③ 長野県 ー感染症対策の徹底による拡大ー

令和3年度：285名（予定）【前年度比+60名】

【大型特殊：9回（各回25名）けん引：3回（各回20名）】

### ◆ 地域の特徴

- ◇新型コロナウイルスの感染防止の観点から縮減していた受講者枠を、感染防止対策を講じることでコロナ前の水準まで回復。

（例①）講義に用いる机を長机から一人用の机に変更し、フィジカルディスタンスを確保

（例②）技能実習の待合室の密状態を回避するため、移動式のコンテナハウスを導入

（例③）受講前及び研修期間中、毎日の健康管理カードの提出と確認の徹底

（例④）受講者一人ひとりに除菌スプレーの貸し出しによる除菌の実施

（問合せ先）長野県農村振興課 026-232-0111